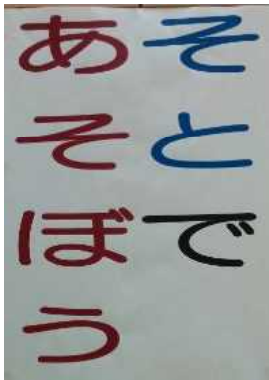


「外で遊ぼう」

校長 三浦 一富



5月の全校朝会、私から子どもたちに呼び掛けたのは、「外で遊ぼう」です。

学校には、「さくらひろば」という前庭があります。芝生スペースに加え、グリーンサンドの広々とした前庭です。そこに、滑り台、ジャングルジム、ブランコなどの遊具が揃っています。

また、緑に囲まれた前庭は、いろいろな生き物とのかかわりなど、子どもの遊びの世界を創造的にしてくれます。ぜひ、天気の良い日には、外で積極的に遊んでほしいと思います。

ただ、先月の学校だよりも書いたとおり、この「外遊び」の減少傾向は、保育園などでも実感されているようです。小学校でも学校があるときは、大勢で楽しみながら「外遊び」に興ずる姿が多く見られます。

しかしながら、休日は、どうでしょうか。家にこもって、ゲーム三昧ということはないでしょうか。私が住んでいる地区でも、休みの日に子どもの姿を見かけることが少ない感じがします。

子どもたちの健やかな成長のために、「外遊び」の効果がいろいろと指摘されています。例えば、①身体そのものが丈夫になる。②運動能力が高まる。③五感の発達が促される。④集中力が増す。⑤イメージする力がつき、算数などで役立つ・・・等々。

(安全には十分に気を付けさせながら)「外で遊ぼう」－これからも勧めていきたいと思います。

**明日は、いよいよ運動会！
ご声援をお願いいたします。**



☆屋外での畑づくり
－ これも大切な
活動です。－